



# THE SERVICE CLUB OF Y.M.C.A. THE Y'S MEN'S CLUB OF KOFU 21

山梨県甲府市中央5丁目4-11  
山梨YMCA青少年センター  
〒400-0032 TEL 055-235-8543  
FAX 055-235-8553

国際会長主題      Our Future Begins Today. 私たちの未来は、今日より始まる  
アジア会長主題    Respect Y's Movement    ワイズ運動を尊重しよう  
東日本区理事主題    明日に向かって、今日働こう  
あずさ部長主題      あずさ部は賜物の宝庫、もっと生かそうぜ！  
甲府21会長主題      楽しい、奉仕のしがいあるクラブにしよう

2017  
4月号

### ★今月の聖句★

驚くことはない。あなたがたは十字架につけられたナザレのイエスを捜しているが、あの方は復活なさって、ここにはおられない。

(マルコによる福音書 16章 6節      松村豪夫 選)

### 2017年4月例会(草津ワイズメンズクラブ・甲府21)

ワイズメンズクラブ2016年度合同例会)

日時 2017年4月8日(土)17:30～

会場 ホテル石風1F グリーンパレス

#### 【第1部 例会】

司会:小澤智之メン(甲府21クラブ)

開会点鐘 松村禎夫会長(甲府21クラブ)

ワイズソング・ワイズの信条

会長挨拶 松村禎夫会長(甲府21クラブ)

中山博文会長(草津クラブ)

会員一言 松村豪夫メン(甲府21クラブ)

ゲスト紹介 松村禎夫会長(甲府21クラブ)

ハッピーバースデー・アニバーサリー

卓話者紹介 野々垣健五メン(甲府21クラブ)

ゲスト卓話 山下孝司氏(武田氏研究会事務局長)

お礼の言葉 松村禎夫会長(甲府21クラブ)

諸報告

YMCAの歌

閉会点鐘 中山博文会長(草津クラブ)

#### 【第2部 懇親会】

司会:奈良田和也メン(甲府21クラブ)

開会の辞 奈良田和也メン(甲府21クラブ)

食前の祈り 茅野崢メン

乾杯 松村豪夫メン

会食

### ワイズメンズクラブ モットー

『強い義務感をもとう

義務はすべての権利に伴う』

『To acknowledge the duty

That accompanies every right』

### 3月のデータ (在籍数 24名)

3月例会出席者数	20名,	
ゲスト1名。メネット4名		合計25名
出席率	20/24	83.33%
3月第二例会出席者数	16名	
ニコニコ募金 第1例会	20,282円	
(20,282円全額「ひろくんを救う会」に寄付しました。)		
〃 第2例会	0円	
〃 3月合計	0円	
〃 累計	124,491円	

### 4月の誕生者

(メン) 稲垣 浩司(24日)

(メネット) 該当なし

### ●●●● 今後の予定 ●●●●

○4月13日(木) 18時～ チャリティーラン実行委員会

○4月19日(水) 18時30分～

第2例会 YMCA センター(若奴はありません)

○4月22日(土) 9時～14時

第7回障がい者フライングディスク大会

富士吉田市パインズパーク芝生広場

2016-2017年度 4月

## 会長挨拶

松村禎夫会長

この原稿を書いている今日から4月ですが、甲府地方では昨日、昨年より7日遅れの桜開花宣言がなされました。それなのに、小生の住んでいる八ヶ岳南麓は、今週の始めに5cmもの雪が降り、その後は日中ぼかぼか陽気で春到来を感じていたものの、今朝はまた一面の雪景色です。まさに三寒四温の季節です。この3月から4月にかけては、卒業・入学、退職・入社と人生における大きな節目の時、皆さんの家族・近い人の中にも、夢と希望を胸に抱いて新しい一歩を踏み出した方が多いかと思えます。

4月はLT(Leadership Training)強調月間です。先月東山荘で東日本区主催の役員研修会が開催され、当クラブからも次期会長佐藤さんを中心に5名が参加して、現在ワイズメンズクラブが抱えている問題を中心に研修を受けて来ました。近年、どのクラブも高齢化により、会長や部役員・主査のなり手が少なくなり、クラブ活性化のネックになっています。しかし、幸いにして、当クラブはここ数年新入会員が急増し(この三年で9名の新入会者)、その中から佐藤さんが次期クラブ会長を、廣瀬さんが次期あずさ部主査と次次期あずさ部長を担って下さることになりました。これを支えるためにも、今月のLT強調月間を覚えて、他のメンバーの方も、いつリーダーになっても良いように、事前の準備をしておくことが必要ではないでしょうか。そのためにも、区の大会やあずさ部評議会などに積極的に参加して、ワイズメンズクラブの活動意義を体得していきたいと思えます。

更に、LT強調月間の一環として、今月の第二例会で



は、食事をしながら「今後の甲府21クラブのCS活動のあり方」について、会員みんなで自由討議を行うことにしました。CS事業は、甲府地域における甲府21クラブの存在意義を表す重要な活動だと思います。皆さんの持っている賜物と奉仕意欲が発揮されることを願っていますので、出来るだけ多くの方のご出席をお願いいたします。

ところで、今月は8～9日に、草津クラブの8人のワイズメンをお迎えして、DBC委員会が計画した草津クラブとの合同例会(山梨の特産と歴史を知るツアー)を実施します。ワイズメンズクラブの交流としての重要な側面で、楽しく・豊かな出会いの場が持てることを期待しております。

## 3月例会報告

寺田喜長書記

日時 2017年3月7日(火) 午後7時～  
会場 山梨YMCAセンター  
出席者 赤根、稲垣、小澤、荻野、鎌田、駒田、  
功刀、後藤、佐藤、茅野、寺田、奈良田、  
野々垣、古屋、廣瀬、松村(禎)、松村(豪)、  
葉袋、山縣、(19名)  
メネット 荻野、寺田、野々垣、廣瀬  
ゲスト 浅羽俊一郎あずさ部長、小澤公紀氏  
司会 荻野メン、一言、古屋メン、  
ペンリレー、野々垣メン

定刻に開会、会長挨拶は「今月はBF強化月間です」とBFについての説明と、あずさ評議会、東西日本区交流会等の参加報告でした。今後の行事の草津クラブとの合同例会への参加、そして、20回目となるチャリ





ティーラン運営に協力要請が有りました。

松村会長期で3人目の小澤公紀氏の入会式が、浅羽あずさ部長、駒田前会長、佐藤次期会長、紹介者の野々垣メンの立会にて行われました。会長よりクラブ活性化のキーマンとなること期待するとの歓迎の挨拶がおくられ、小澤公紀メンから入会の挨拶が有りました。

今月のゲスト卓話は「YMCA と難民支援」と題して浅羽あずさ部長の講演を拝聴致しました。チェチェン、スーダン、パキスタン、アフガニスタン等の「国の庇護が受けられない、又は国から逃れる」難民と呼ばれる人々への人道支援活動の様子、難民支援の基礎事項について解説等貴重なお話を聴くことが出来ました。多くの国の方々との交流やテサロニキ YMCA の取り組みに参加した中で、ユース育成の重要性を痛感、YMCA が何をすべきか、今の日本の YMCA の状態で良いのか、ワイズメンズクラブがどう関われば良いのかご自身のお考えと共に提案され、当クラブの YMCA への関わり方への一方向性を示してくださいました。

## 会 員 ペ ン リ レ ー

### 東日本大震災の6年後の視察レポート

奈良田和也メン

昨年、福島県南相馬で建築の設計監理をしたので月に2~3回現場に足を運びました。

設計した建物はセミナーハウスで自然エネルギーについて小学生の課外学習から企業の研修までを行う施設です。建築主はNPO法人で代表は東京電力の元取締役で、福島原発事故の時はずでに退社していたが、贖罪の意識でこのような活動をしているとのことでした。

昨年秋に現場監理に出向いた時、多少時間が取れたので、東日本大震災からの6年後を確認しようと思い南相

馬から南三陸までを駆け足で視察してきました。その時のことを建築家的視点でレポートに地域別にまとめてみました。

- 南相馬  
 応急的なインフラの整備はほぼ終わり住宅地も高台に移り終えていた。  
 住宅地の敷地区割りは通常の住宅団地の開発と変わることが無い。  
 住宅のデザインは一部共通性を持たず試みが行われていたが、逆に統一性が進み没個性となり町全体の輝きが無いように感じられた。  
 尚、除染は活発に行われており、作業員用の簡易宿舍の新設が目についた。
- 仙台  
 仮設住宅はかなり転居しており空室が多く見受けられた。仮設だけに建物の傷みも多く、転居できない世帯をまとめるようなことをしないとゴースタウン化するのではないかと思った。  
 海岸沿いの完全に被災した住宅地は、復興は行わない方針のようであった。
- 南三陸  
 インフラ工事を盛んに行っている。建物までは手が廻っていない状態。  
 平地に盛土を大々的に行っている、このインフラ整備で後何年か掛かると思われる。  
 盛土が完成した後の台地が建物の建設に適しているのか疑問(地盤沈下等)に思った。
- まとめ  
 今回の視察で復興はまだまだ道半ばであることが確認できた。  
 工事のための工事を行っているような印象を持つところもあった。  
 山梨県で災害が起きた場合の被災はあそこまで壊滅的な被災は無いと思う。緊急の場合は優秀なリーダーが計画を立てるべきで、みんなの合意を得るやり方では、正しいものがないのではないかと思った。  
 被災地の人々の様子は心の内面までは見て取れないが、表向きは現状を受け入れて今の状態が普通の日々のように感じられた。  
 地域により復興の進捗状態に差があることが見て取れた。

## 次期会長・部役員研修会報告

荻野 清メン

2017年3月4日から5日にわたり、第3代目御殿場東山荘において、ワイズメンズクラブ国際協会・東日本区主催による表題の研修会に総勢106名、当クラブからは東日本区監事の駒田メン、次期会長の佐藤メンと野々垣メン、次期あずさ部主査の廣瀬メン、荻野メンの5名が出席しました。

2017年ー2018年度東日本区理事の栗本治郎氏（熱海）から理事方針として下記の内容が示されましたので報告します。

### ■国際会長：Henry Grindheim（ノルウェー）

#### 主 題

**Friendship across the borders**

「国境なき友情」

#### スローガン

**Let us walk in the light-together**

「ともに、光の中を歩もう」

### ■東日本区次期理事：栗本治郎（熱海）

《理事主題》 「広げよう ワイズの仲間」

（**Extension Membership & Conservation**）：

「E. M. C」

《スローガン》 「楽しくなければ ワイズじゃない 積極参加で 実りある奉仕」

（**Joyful life through Y's dom Service with Positive action**）

#### （基本方針）

##### 1. 部の強化・活性化

部の活動を強化し、部長・主査が主体的に活動し、部の活性化を図る。

主査は委員会を設け、実効性のある充実した部活動を目指し、クラブ間交流を深める。また、部会・研修会の充実を図る。

##### 2. YMCAとの協働

ワイズメンのYMCA会員率100%を目指す。YMCA との協働関係の中でエクステンションを検討する。



#### （各事業の目標）

##### 1. 会員増強事業

○部に「エクステンション委員会」を設置する（複数年で取組む体制）。

○例会出席率の向上を目指す（プログラムの充実）。

○クラブの会員数20名を目指すと共に、理想的な会員数とされる30～40名を目標とする。

##### 2. 地域奉仕事業

○地域における知名度を高めるCS事業を推進し「入会したいクラブ」を目指す。

○所属YMCAとの相互理解と協働プログラムを推進する。

##### 3. 国際・交流事業

○IBC・DBCの交流を推進する。

○各献金の目標を達成する。

##### 4. ユース事業

○次世代のワイズとYMCAを担う若者を育成する。

##### 5. メネット事業

○メネット活動の活性化を推進する。





国際目標 (Vision2022 : ワイズ 100 周年) としては、現行 69 ヶ国(27,000 名)を 2022 年には 100 ヶ国(50,000 名)へという目標があります。

次期理事方針の主題である Extension の一つは、各部内で新クラブの設立することであり、もう一つがクラブ会員数の増員であります。1997 年にクラブ数 57 で会員数 1,246 名が、2016 年にはクラブ数 61 で会員数が 908 名となりました。また、1 クラブ平均会員数が 1997 年は約 21 名 (54.4 歳) であるが、2016 年では約 15 名 (64.1 歳) となっているようです。どの国も似たような傾向です。

Extension ということは、私にはよく分かりません。今の甲府 21 では「毎年 3 名ずつの増員があり、しかも出席率が良い」、このままで大丈夫と感じました。年に 1 人が 1 人というのは現実には無理でしょう。現行の 24 名のうち 7 人組で 1 人増やしていく形はどうでしょう。2017 年度は、“中味”で勝負と思いました。そして、甲府 21 はクリスティアニティー、YMCA との協働、出席率にみ合うプログラムと考えるに至りました。

## 3 月 第 2 例 会 報 告

寺田喜長書記

日 時 2017 年 3 月 21 日 午後 6 時 30 分～  
 会 場 山梨 YMCA センター  
 出席者：相川、稲垣、荻野、小澤(智)、小澤(公)、  
 功刀、駒田、佐藤、茅野、寺田、奈良田、野々垣、  
 古屋、松村(禎)、松村(豪)、山縣 (16 名)

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆  
 ☆☆☆☆ 山梨 YMCA 通信 ☆☆☆☆  
 ☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

総主事 露木 淳司

新年度が始まりました。基本聖句に選んだ箇所は、新約聖書の(ローマの信徒への手紙 8 章 18 節)「現在の苦しみは、将来わたしたちに現されるはずの栄光に比べると、取るに足りない」とわたしは思います。」というパウロの言葉です。道路拡幅に伴う新会館建設予定地選びで、まさに今、山梨 YMCA は産みの苦しみを味わっています。でも、きっと数年後には、皆様に喜んでいただけるようなすばらしい会館が与えられるだろうと信じて疑いません。

さて、新しい年度を迎えて、学童保育プライムタイムには現時点で 20 名、英語学校にも 10 名の新規入会者を得ることができました。そして放課後等児童デイサービスという発達障がい児のための新規事業が立ち上がり、こちらも既に 7 名のメンバーの入会が確定し、ロコミによる問合せも続いています。はじめて YMCA の門をたたいてくれたメンバーや保護者の皆さまのご期待に沿うべく、スタッフ一同万全の準備をして臨みたいと思います。

そして 6 月 10 日の第 20 回目となるチャリティーランに向けて準備が始まりました。本当にいつもお願いばかりで恐縮ですが、皆様の暖かいお支えがあつてはじめて前へ進むことができる、小さな小さな山梨 YMCA です。今年も何卒よろしく願い申し上げます。

☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆  
 ☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆  
 ☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆☆

### 協議事項

- 1, 4 月第一例会兼草津クラブとの合同例会について
  - ・参加者の確認・・・奈良田 DBC 委員長の参加者一覧表にて確認
  - ・移動手段について・・・参加者にて調整する。  
 9 日は釈迦堂遺跡博物館駐車場の確保困難の為 YMCA の車借用を要請中
  - ・例会プログラムの確定・・・司会担当小澤(智)メンに一任、ブリテン担当稲垣メンに連絡する。
- 2, 東日本区大会の参加者確認と移動手段について
  - ・本日出席者のなかで 9 名が参加予定、人数決定後

移動手段検討する。

- 3, 甲府 21 クラブ独自の CS 活動についてフリーディスカッションと今後の進め方について
    - ・ 4 月第二例会にて検討する・・食事を取りながら行います。参加者は連絡下さい。  
(若奴二次会はありません)
  - 4, 会員慶弔規定に関する基準の見直しについて  
会則 17 条 第 1 項  
「3、喜寿、米寿」及び「4、銀婚式、金婚式祝への記念品」項目削除  
「6、(本人又は一親等)を(本人、メネット又は一親等)」に変更  
「7、(10 日以上入院)を(本人又はメネット 10 日以上入院)」変更
- \* 上記の様な改定案と成りました。例会に諮りま  
すのでご意見のある方は提案下さい。\*

- 5, 佐藤会長の事業計画作成について・・4 月第二例会での検討事項も含め 5 月例会に提案、  
5 月第二例会にて検討、6 月例会にて承認、6 月第二例会にて総会資料作成との予定とする
- 6, 3 月例会の反省・・浅羽部長卓話の音が聴き取れない、画面が小さい等の意見あり。卓話者要望に対して準備不足。担当者が決めてないのが原因ではないか? 例会毎に担当者を決めてはどうかの提案あり。
- 7, その他
  - ・会計報告、3 月例会のニコニコ献金 2 万円を「ひろくんを救う会」へ。
  - ・チャリティーランのパンフレットが準備出来ましたので活用ください。
  - ・次期役員研修会参加報告が荻野メンよりあり、4 月ブリテンに記載予定。

こんにちは。甲府21ワイズメンズクラブの小澤智之です。

山梨 YMCA のホームページをリニューアルしてから1年となります。

ホームページを制作して下さった株式会社マニュアルズのホームページに山梨 YMCA のことがインタビュー記事として掲載されています。株式会社マニュアルズは山梨でホームページ制作を行っていますが、全国各地から仕事を引き受けています。山梨 YMCA のホームページも素晴らしいものにリニューアルしていただきました。記事は、総主事にインタビューしたもので、今の山梨 YMCA のことがわかる記事となっております。是非ご覧ください。

<https://www.manualz.jp/letter/ymca/>

[← manualZ LETTER 一覧へ](#)



manualz: LETTER  
INTERVIEW 06



「FOR ALL」  
幼児、子ども、  
学生、大人、高齢者...

あらゆる人に気づきと学びの機会を

公益財団法人 山梨YMCA  
代表理事総主事

露木 淳司 様

公益財団法人  
山梨YMCA

終戦翌年の1946年に国内13ヶ所目の都市YMCAとして甲府市に設立。幼児を対象にした保育プログラムや子ども向けのキャンプ、子どもから大人まで参加できる英会話プログラムなど多彩な学びの場を提供。2003年に学童、2013年から高齢者向けの独自サービスも開始している。3年後、正面道路の工事の関係で施設の建て替えを予定。より多くの方が気軽に立ち寄れる場を目指す。

INFORMATION

〒400-0032 山梨県甲府市中央5-4-11  
【TEL】 055-235-8543  
<http://www.yamanashiyymca.org>